

# 福島第一原子力発電所

## 構内B排水路における調査用モニタの測定値について

< 参考資料 >  
2021年3月22日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

- 3月21日午後9時頃に構内B排水路の上流に設置されている調査用モニタ※の一部（B1ゲート付近のモニタ）に若干の上昇傾向（100Bq/L程度の上昇）を確認しました。
- その後、B排水路にて午後10時54分サンプリング水を分析したところ、全ベータが17Bq/L、セシウム137濃度が1.1Bq/L、セシウム134でND（ND値0.68Bq/L）であり、BC排水路モニタの管理基準1,500Bq/Lに比べて十分低いことを確認しています。また、上昇傾向を示したモニタの指示が下降傾向を示していることを確認しており、海水放射線モニタの値に有意な変動は見られなかったことも確認しております。
- 周辺においてタンクからの漏えいがなく、また下流側に設置しているBC排水路放射線モニタに有意な変動もないことから、当該モニタ測定値の若干の上昇については、水の流れがない箇所における地震に伴う排水路内の土壌舞い上がりの影響と考えています。

※連続監視をしているBC排水路放射線モニタに有意な変動があった際に、漏えい箇所等の濃度変化を確認するために設置したモニタであり、放射能濃度については正確な値を示すものではなく参考値。

B1ゲート付近モニタ

